

なっとく流量の設定及び 河川情報図の作成に向けて

第5期野川流域連絡会なっとく部会活動記録



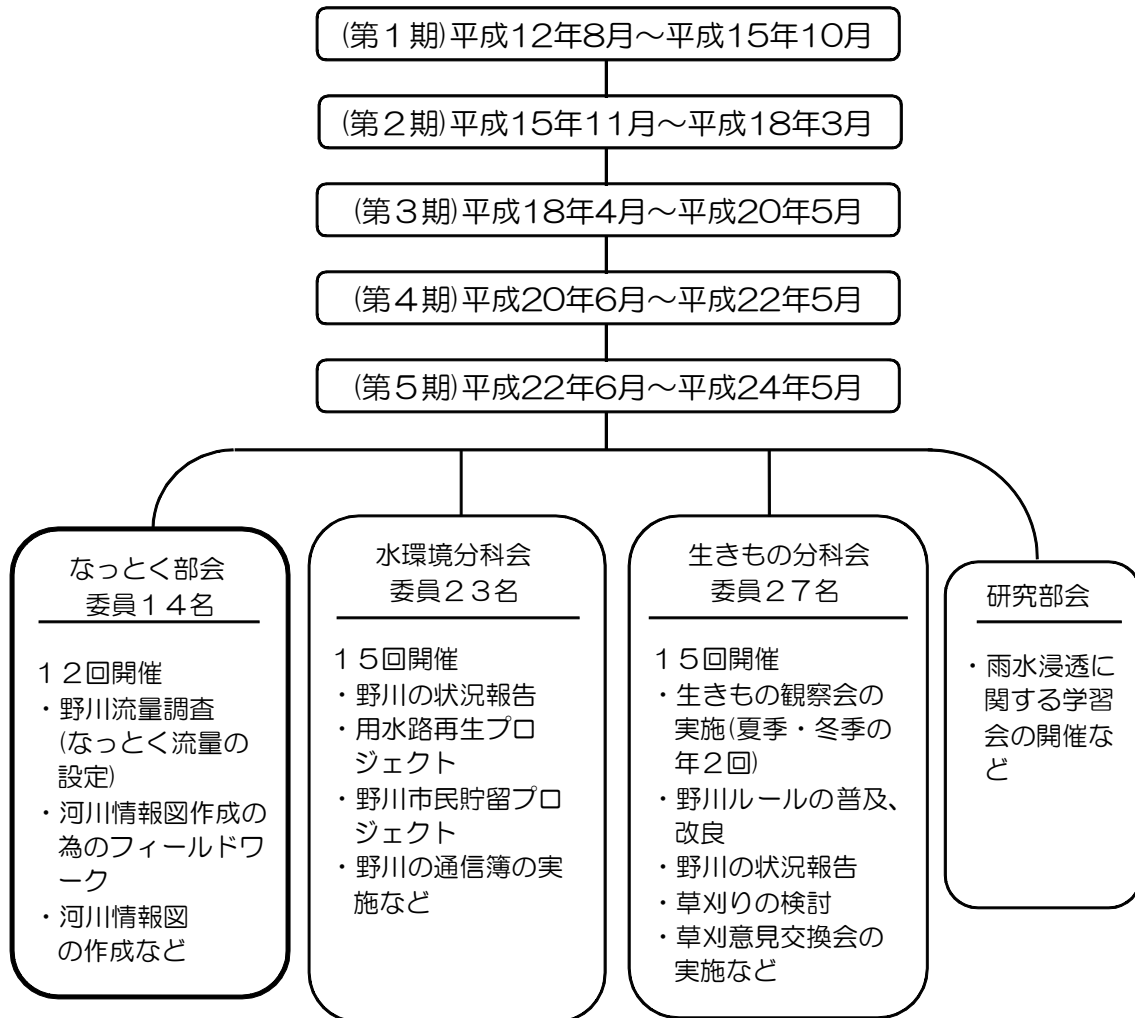
平成24年5月
野川流域連絡会

野川流域連絡会及びなっとく部会について

○野川流域連絡会について

「野川流域連絡会」は流域住民、野川に関心を持って活動している団体の代表者、都及び流域自治体の職員等が、“野川を地域に活かした親しめる川にする”ため、情報や意見の交換、提案等を行うことを目的に、平成12年8月に設置されています。

平成22年6月から第5期目がスタートし、都民委員18名・団体代表委員12名、行政委員20名、計50名が、水環境分科会と生き物分科会を中心に活動しています。なっとく部会は両分科会の委員等によって構成され、流量調査、河川情報図の作成などを行っています。



第3回なっとく部会



河川情報図作成の為のフィールドワーク



野川水涸れ状況（二枚橋下流）



野川水涸れ状況（箭真舳橋より下流の状況）

野川流域における今後20～30年間の取り組みを示す「野川流域河川整備計画」を平成18年3月に策定（平成21年12月変更）しました。

河川整備計画には、市民とともに取り組む“野川ならでは”の施策として、「みんなで決める納得流量」、「市民とつくる河川情報図」を定めています。これら取り組みを進めるために、なっとく部会を設置し、話し合いや、現地調査などを行っています。

第5期は、引き続きなっとく部会を設置して上記の取り組みについて、話し合いや委員による流量調査、河川情報図作成の為に現地調査などを行いました。

また、今までの流量調査結果を元に現時点での仮の「なっとく流量」を設定しました。

第5期なっとく部会活動記録

年月日	活動名称	活動内容
平成22年 7月24日 ～30日	第1回なっとく流量調査	委員による流量調査第1回(通算15回)
平成22年 9月21日	第1回なっとく部会	議題:第5期の活動予定について、河川情報図作成について、流量調査について(今後の調査体制について)
平成22年11月20日 ～26日	第2回なっとく流量調査	委員による流量調査第2回(通算16回)
平成23年 1月29日 ～2月4日	第3回なっとく流量調査	委員による流量調査第3回(通算17回)
平成23年 3月10日	第2回なっとく部会	議題:河川情報図作成について、流量調査について(結果及び今後の予定)
平成23年 3月19日	第4回なっとく流量調査	委員による流量調査第4回(通算18回) 震災のため中止
平成23年 6月 7日	2巡目第1回フィールドワーク	「河川情報図」に記載する情報を収集。野川の世田谷区間(兵庫橋～神明橋)
平成23年 7月 9日 ～15日	第5回なっとく流量調査	委員による流量調査第5回(通算19回)
平成23年 8月18日	2巡目第2回フィールドワーク	「河川情報図」に記載する情報を収集。野川の小金井から三鷹区間(御狩野橋～西之台橋)
平成23年10月12日	2巡目第3回フィールドワーク	「河川情報図」に記載する情報を収集。野川の調布から世田谷区間(細田橋～神明橋)
平成23年11月12日 ～18日	第6回なっとく流量調査	委員による流量調査第6回(通算20回)
平成23年11月21日	2巡目第4回フィールドワーク	「河川情報図」に記載する情報を収集。野川の小金井から国分寺区間(西之台橋～最上流)
平成23年12月15日	第3回なっとく部会	議題:流量調査について(結果、代表地点の選出、期間の設定、なっとく流量の設定、今後の調査について)、全体会活動報告事項について
平成23年12月20日	2巡目第5回フィールドワーク	「河川情報図」に記載する情報を収集。野川の調布から三鷹区間(細田橋～御狩野橋)
平成24年 1月21日 ～27日	第7回なっとく流量調査	委員による流量調査第7回(通算21回)
平成24年 3月17日 ～23日	第8回なっとく流量調査	委員による流量調査第8回(通算22回)

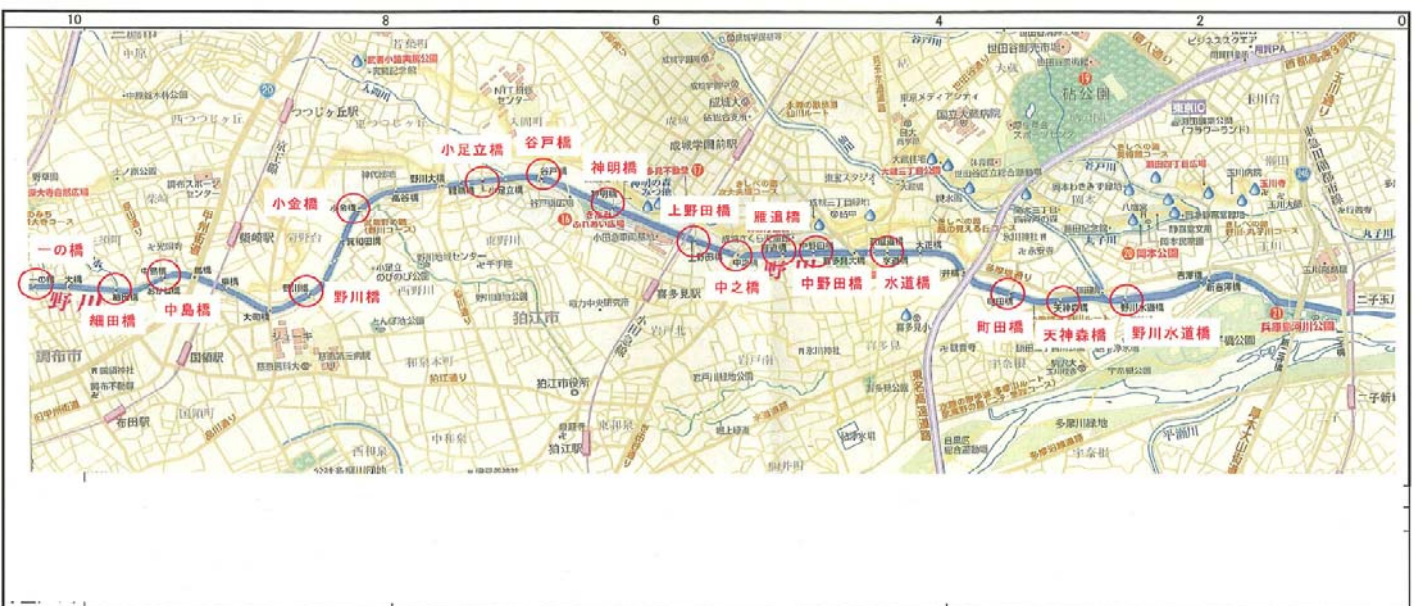
みんなで決める納得流量

○なっとく流量とは？

平常時の動植物の生息・生育・繁殖環境の保持、流水の清潔の保持、河川景観、環境用水としての利用などの観点に加え、雨量・水量・湧水量の変動、河川の歴史、流域住民の意向調査などから望まれる流量を検討する「みんなで決める納得流量」です。行政と市民と一緒に、野川の全区間について、流量を一斉に調査しています。これまで22回行っており、調査を通して、「なっとく」するための流量を体感してきています。



○流量調査地点

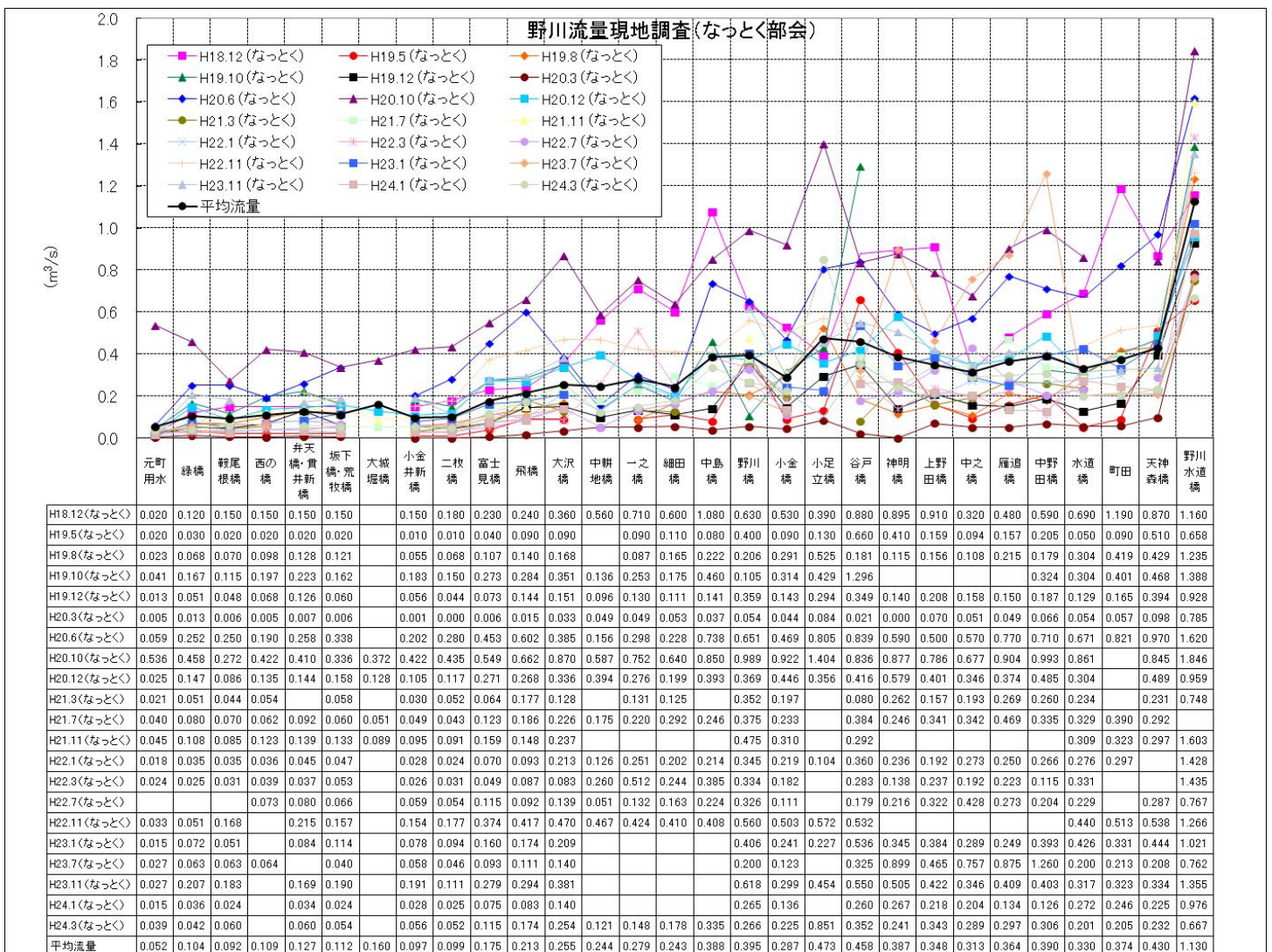
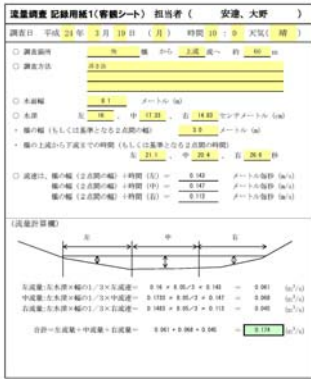


○調査結果

流域連絡会の委員が中心となって、野川流量調査を行いました。調査結果は当日の現地の状況などもふくめて、29地点の「流量調査結果シート」にまとめました。

＜データシートの例＞

＜調査結果のまとめ例＞



市民とつくる河川情報図

○河川情報図とは？

河川に関連する情報を収集、集約するため、河川ごと区間ごとの流水の現況、河川の利用、各種愛護活動、生物の生息・生育状況などをまとめる「市民とつくる河川情報図」です。情報図作成の取り組みとして流域連絡会、市民団体等と協働で、フィールドワークを行っています。



国分寺崖線と野川（泉橋付近）



親水護岸



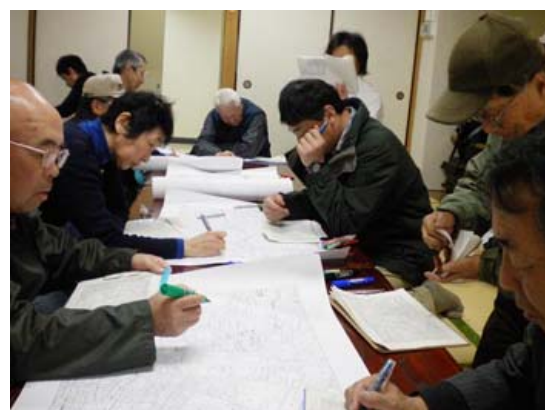
湧水流入部



野川の看板



コサギとカルガモ



白図記入

○フィールドワーク

フィールドワークは第5期で2巡目として5回実施しました。1巡目と同じ区間、違う季節で実施し、湧水地などの周辺情報も追加し、野川全川を22枚の図面にまとめた河川情報図の情報の充実化を行いました。

調査目的及び内容

○野川なっとく部会で作成する「河川情報図」に記載する情報を収集します。

○収集している情報は以下の通りです。

- ・野川の動植物（希少種、外来種含む）
- ・河川の利用状況
- ・河川管理に関すること（ゴミ、木など）
- ・野川ルールに関すること（えさやり、犬の散歩など）
- ・納得流量検討に必要な情報（瀬や淵など）
- ・湧水ポイント、崖線
- ・その他

○集めた情報を大きな図面に書き込む作業を行い、最後に参加者の意見交換を行います。



野川河川情報図 (No. 08/22)

野川河川情報図 (2巡目第3回フィールドワーク、NO.8/22)

○韓国「川の日」安東大会への招待

平成 22年8月 27日から29日に開催された韓国「川の日」安東大会に参加しました。

韓国「川の日」大会は、水環境に関わる日韓交流が2000年から始まり、韓国NGOが、日本の「川の日」ワークショップに参加した事がきっかけとなり、2002年より開催されており、日本のグランプリほか入賞団体も招待され、発表及び交流を深めています。

毎年、韓国内の異なる都市で開催しており、開催誘致活動も活発に行われています。様々な活動主体による水辺環境の保全活動事例を集めて、公開発表、公開討論、公開審査という方式を通じて優秀な事例を選考する大会となっています。

野川流域連絡会の「野川の奇蹟 ～川霧のたつ東京の川～」が「第2回いい川・いい川づくりワークショップ」のグランプリ（全国1位）を受賞したことから招待され、野川流域連絡会を代表して、座長以下3名が参加しました。



○ホームページの紹介

野川流域連絡会では、ホームページでも情報発信を行っています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/05/nogawa-title.htm>

東京都建設局では、都内の河川で開いている流域連絡会の活動をホームページで紹介しています。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ryuiki/index.html>

野川流域連絡会

生命の歌声が聞こえる水と緑の薫る川




【谷戸橋下流 狛江市】 【最上流部 国分寺市】

野川は、国分寺市東恋ヶ窪を源とし、武蔵野台地の端部、国分寺連綿に沿って東南の方向に流れ、小金井市、三鷹市、調布市を貫流し、狛江市東野川で入周川を、世田谷区鎌田で仙川を合流して、世田谷区玉川で多摩川に合流する、延長20.23km、流域面積69.6平方キロメートルの一級河川です。
水辺に近づきやすい川づくりを基本に、川沿いの武蔵野公園や野川公園と一体的に整備するなど、緑豊かな自然環境をつくりだしています。都市を流れる河川の中では、四季折々の自然が息づくおおいのある川として多くの人々に親しまれています。
「野川流域連絡会」は平成12年8月30日に設置され、現在第4期目として活動しています。委員(公募による郡民委員と団体委員33名及び行政委員20名の併せて53名)が互いの情報を共有しながら、意見交換、提案、勉強会、自然観察会など行っています。

表紙の写真について






- ①武蔵野公園（平成 23年 8月 18日）
- ②フィールドワーク（成城三丁目緑地湧水）
（平成 23年 6月 7日）
- ③流量調査（坂下橋）
（平成 21年 3月 22日）
- ④河川情報図（平成 23年 6月 7日）

問合せ先

東京都建設局 北多摩南部建設事務所
 工事第二課 工務係
 住所 東京都府中市緑町 1-27-1
 電話 042-330-1845
 FAX 042-369-3890
 e-mail s0200212@section.metro.tokyo.jp